

ツルカコソウ	<i>Ajuga shikotanensis</i> Miyabe et Tatew.	絶滅危惧Ⅰ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		シソ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。	写真(岐阜大学教育学部標本室)
形態の特徴	茎は直立し、高さ10-30cmになる多年草。基部の葉は広倒披針形～倒卵形でロゼット状。茎葉は1-2対。上部の5-10対は苞となる。花期は5-6月。苞の腋に仮輪状に数個の淡紫色の唇形花をつける。	
生態的特徴	日当りのよい丘陵地の草原に生える。	
分布状況	日本固有の種。本州、南千島(色丹島)に分布する。県内では県南の西部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南の西部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良